

刊夕日二廿月貳拾



定価 一紙五銭 一月一元五角 半年七元五角 一年十三元
 廣告料 五銭以上 一紙一元五角 一週七元五角
 日曜祭日の翌日休刊
 発行所 常磐毎日新聞社 印刷所 常磐毎日新聞社
 編集長 川崎 文
 社長 川崎 文
 電話 六三〇〇



あの頃

木津茂太郎

あの頃。——夏や秋、冬ではない、どうしても春のやうな気がするあの頃。私の十六七才の頃。……私は今でもあの頃のことを戀しく思はれる。——私

のその思ひのまぼろしに、花火の音のさびしく聞えてゐる宵がある。かと思ふと賑やかな祭りの人通りがある。涼み臺に腰掛けて、戀しいひとの来るのをじつと見てゐる私がある。

あの頃、讀んだものは何と何だつたらう。獨歩の「竹の木戸」や「少年の悲哀」や「葉のたけくらべ」に「少年世界」のあのなつかしい「銀蛇の窟」少年俱樂部部の「神洲天馬俠」だつたあの頃、私は二階の座敷へ——時折荷馬車の音のする静かな二階へ、寝起してゐた。自動車のいやな騒音なんかは決して聞えては來なかつた。——その時代、自動車はほんの數へるほどしかなかつた。思ひ掛けずかのひとに會

ひぬ——
 道そばに
 散歩にいでし或る日の午後
 この歌をつくつたのも、多分その頃であつたらう。

今にして思へば、いかに花やかな浮々とした時代のやうに憧憬されるけれど、その時代の私に見れば必ず何かしらの不満があつ

- ……明日の献立……
- 【朝】味噌汁——ねぎ小付
 - 【晝】煮付豆腐揚げ
 - 【夜】イラムチャウダー
 - 【お楽しみ】ポーチドエッグ
 - ツクス ウイズ
 - ベジタブル

ただらう。——第一、かの一ひとある、この少女が私には不満の一つであつたのである。第二には私の希望が到底みたされるやうな事はないと云つてもよい周囲の有様であつたのである。——しかし、私は何んと云つてもあの頃の方が幸福であつたと思ふ。自己といふものを信じてゐることが出來たあの頃は確かに幸福であつた。私はそれからあらゆる物に愛想をつかした。しかしそれは此處で語るべきではない……

長田幹彦の小説集を買つてあの二日市の雑踏の中で

讀んだ事 又は泉先生の、「高野聖」に感動してしみじみ、或るものが慕はしくなつたこと、或ひは未知の世界へのあこがれ……

あゝ、私はあの頃は幸福者であつた。

前記の歌を書いた手帳は一体何處へ行つてしまつたらう。

〔完〕

洋食 毎度有難うございます

喫茶 宴会

エビフライ

ピフテキ

コンパル

平野前新道通り

TEL.666

木村外科醫院

平町六丁目橋際

電話三〇九番

歳末御禮大賣出し

日ごろの御愛顧に酬ゆるため優良格安品

均一提供品豊富に取揃へて年末の大奉仕

あかや洋服店

平三 電二〇三番

十二月廿三日ヨリ年内

移轉廣告

今般左記に移轉從前通り一般法律事務取扱に從事致候間此段御通知に代え、謹告仕候

十二月十五日

平町紺屋町(元平警察署跡)

辯護士 門傳清吾

電話二十四番

透明障子紙

意匠登録 第六三四七八號

- ▼本品は室内用、室外用の二種あり
- ▼室内用は張方從來の通り生熟糊にてよろし
- ▼室外用は特に室外用ノリにて張ればよろし
- ▼本品は硝子、セルロイド以上の優秀點を具備す
- ▼雨と風との神様が兩神一緒に暴れても室外用は平氣なり
- ▼現品は普通障子紙巾にて(長さ九メートル)

◎定價

- ▼室内用 六十錢
- ▼室外用 八十錢

◎室外用ノリ 一罐 二十錢

平町四丁目

夕伊勢屋 阿部商店

電話四五番

◎賣弘め中粗景手拭一本呈上

是非!

御融通には御利用下さい

萬事便利な御相談に應じます

三井質店

平四・電六〇六番

昭和十年亥年 新年エハガキ賣出し

實用向年賀狀

モダン向年賀狀

趣味向年賀狀

少年少女向年賀狀

各種豊富

年賀狀はお早く……

新版俳優プロマイド及び額書各種

これは便利な

年賀狀印刷器

どんな人にも手軽に刷れて

無駄のない實用品です……

附贈品一揃付 金三十錢

ぜひ御利用下さい。

平野前 いづみや玩具店

平會館

平野前

電話四五番

平野前

電話四五番

玉屋洋品店

平町田町通電話六五六番

平野前

電話四五番

理想郷建設に

起上る意氣

自力更生に進む二ヶ村

既報自から更生村の施設設計書を制定、農村精勵して目的遂行に努めてゐる上、遠野村では同村隨一の模範部落深田山田を目標にして「更生への道」をひたむきに突進することになつた同部落は同村農長吉田房吉氏を實行委員長として全戸數百十戸打つて一丸となり左記事項を實施してゐるといふ理想郷である

- 一、月掛十錢貯金實施
- 二、毎朝五時に版木を鳴らすこと
- 三、道路改修奉仕作業
- 四、農事研究会年六回開催
- 五、共同購入

青年を中心に

山田村の改革

十年度經濟更生指定村に豫定されてゐる山田村では農

最終町會

廿六日招集

平町本年度最終町會は二十日午後一時から招集することに決定、提出議案左の如し

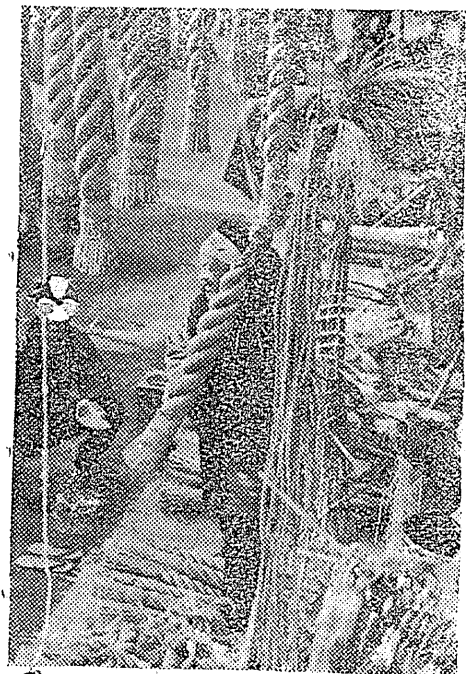
- 小學校基本金運用 九年度豫算追加更正 水道給水料率變更 會計規程中改正 町税特別税戸數割訴訟に對する辯明 第一校飛行機廢物賣却 寄附採納 警備委員推薦 平町市制施行調査會委員推薦 區長及區長代理者推薦
- ▲諮問平町都市計劃區域決定に關する件

貧民のSOS

就職斡旋に大車輪

平職紹の歳末求人、職數

平職業紹介所では現在歳末のさ中にあるだけにSOSを叫んで殺倒する失業者及び慘禍の郷土を捨てて石城の野に活路を求めた凶作民の群に對する就職斡旋に忙殺されてゐるが今十二月の成績は昨二十一日現在で左



歳の瀨の用意

九、杉平櫻町方面 變轉また變轉する 土族たちの屋敷跡 舊城跡三の九の西、六間門の北に、バナ、を二本並べて、東西に横たへた如き臺地が、杉平と櫻町だ、六間門の直ぐ北に在るのが杉平で、六間門は杉平の御濠を以て限られてゐる、今

して合計四百五十四件で郡是中村等の製糸女工運らくを合すれば求人數一千二百六十九名といふ近來になり大量より求職は採族職工の四十六名が最高で合計九十九名で流石に年末らしい繁忙ぶりを見せてゐるが九十九名の

石城産清酒の 聲價揚る

八酒造年度の移出激増

石城酒造組合では衰連打開對策として昨年末移入酒絶滅を決議して専心地元産清酒の品質向上と販路開拓に努力した結果昨年度(昭和八酒造年度)の業績目覚ましく數年間に亘る不振を一掃して磐城酒造界の飛躍時代を招來するに至つた即ち昨年度の醸造石數一萬四千

求職者中六十名は凶作地の貧農民であつた

求人	求職
工業	三九五
土木建築	一〇
商業	二二
農業	一一
通信運輸	七
戸内使用	一五
雜	三
	六八三

高麗橋を中心として

(42)

眞木翁の懷古事談

は空濠で形狀も昔と變つて居る(六間門の、今の營林署前から眞北へ、そして左へ折れて、杉平門の升形(第廿四區長鈴木廣成氏住宅の北)に入り、右に折れて東と西との、濠間を北に進めば杉平で、三間幅許の道が濠にそふて東西に通じ、更に西南に折れて、玉の門より胡摩澤坂に續いて居つた

市場東京へ五百石を移出したことは空前のことと漸やく磐城酒の聲價が認識されるに至つたものと同組合では今後大きな期待を抱いてゐるなほ平税務所の調査に依る郡下の移入清酒の數は依然として會津銘酒の八百二十二石を大關格として合計二千七百六十石で前年度に比し大差なかつた

報告あつた後既報の協議事項に就て打合せを行つた

博覽會敷地 平町土無償で貸付 木委員

會は二十一日開き明春四月一日から開催される國防博覽會敷地の伸町地内町有地千十一坪無償貸付を附議可決した

第二日引受數

平局賀狀取扱

平局の年賀郵便取扱第二日は引受數四千六百九十九通で第一日より千七百九通を感じたが廿五日頃から本調子となるものと見られる

平町人事

- 平町 出生
- △六間門二 袴塚豊治氏二男登さん
- △死
- △六町九六 菅井寅吉氏(八八)

僅かの區間に残つて居る丈だ、杉平には道路の北に、下河邊、高橋、小谷、川島廣瀨の五屋敷が並び、櫻町は取付に江家の屋敷があり真中に在る東西の道路を挟んで、其處に吉田、渡邊、梶原寺の五屋敷あつたが此杉平、櫻町兩所の土族屋敷は、廢藩置縣の、時代の流れに押流されて、何れも忽ち其姿を没して、其跡は一面の畑で、藍畑となつたり、綿畑となつたり、大豆畑や、小豆畑に雲雀が囀ぶる大麥、小麥などの天つたり、累々と成下がる

師走が奏でる交響樂

鳥兔忽々……今や數日後に年は逝く、この押詰つた狂騒の中に渦巻く複雑な感情！ かき鳴らされる師走進行曲のビツク・アツプともいふべき……

多忙を嘆く

タクシーの運轉手

ボーナス景氣に踊る
花柳界繁昌裏面物語

「桃色の夢」を乗せてタクシーは亂れ驅ける……
年末の歡喜——サラリマン生活の華である恒例のボーナスは軍需インフレ景氣の潮に踊つて炭山、鐵道は言はずも銀行會社官衙工場あらゆる方面に亘つて一齊に増額支給され「微笑ましきボーナス景氣」を出現してゐる、この反響を百二十プロセントに受ける花柳界は今や永年の衰滅をK.Oして「吾が夜の冬」を謳歌する大繁昌！「ミス・新田町」は紅裾を寒風に亂して艶かしくも冬の夜の鋪道を急ぐ、X×樓、O×亭、△の家……E.T.S.——料理屋、待合の灯は明るく騒然たる大太鼓、さては忍びやかな爪弾きの絃の音が凍つた夜の空氣を震はせる……

さて、この花柳界活況の恩恵をうけるタクシーは目の廻るやうな忙がしさだ！
忘年会に、二次會、三次會の送迎に、さては清流夏井河畔の醉國柔郷——五色遊廓へとスイ人を乗せて深夜の街を疾走する、三四年型のハイヤーから二九年の古フォードまで總動車してもなほ且つ（藝妓置屋で藝妓不足をカコツ如く）車臺の足らざるを嘆くのである

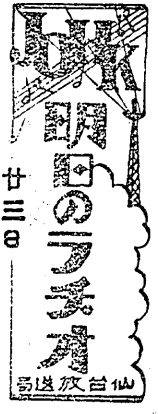
さらでだに非常時——歳末で就勞時間の延長に泣く運ちゃんは一年の書入れ時盛夏にも優る繁忙さに運轉のエキストラ・インニングを強要されオロカシクも吐息ついて
忙がしいなあ結こうですが夜中の二時、三時頃泥酔したお客を乗せての鎌田通ひは樂しあありませんぞ、寝る暇もなくまたも六時頃朝歸りの客を迎へに、全く遣切れませんか、体がいくつあるんだ穿いて毎夜の如く「險の恩

寒夜を行く盲人に

恵む温愛

匿名で足袋四十一足を寄付

寒冷の師走にこれは又温い純愛佳話——數日前平町警署の男が「或る人に依頼を受けたのだが盲生全部の足袋の文數が知りたい」と突然云ひ出たので同院では奇異に感じながらも全院四十一名の文數を調査して通知したところ昨二十一日前日の商人が四十一足の足袋を持參「寒氣の折柄不自由な人々をこれで幾分でも喜ばせたいと言傳てられた」と寄付を申出た同院では感激してこの篤志家の名を訊ねたところ「賣名と誤言されるから絶対に知らせるなとのことだ」と云ひ残して去つた、四十一名の盲生はこの温かい贈物に開かぬ眼に涙を湛へて感泣したがいま彼等は「情けの足袋」を穿いて毎夜の如く「險の恩



明日のラジオ
今晩も明日も北西の風天氣良し

- 今晩の部
- 後六、〇〇 子供の時間
 - お話 三方原合戦 飯尾哲庸
 - 後六、二五 英語講座(終)
 - 本多平八郎
 - 後七、三〇 講演「農村に
- 機はいつなるや?
- ふさはしき工業國」立工藝指導所長 國井喜太郎
- 後七、五〇 義太夫 豊竹昇之助
 - 後八、三〇 映畫主題歌
 - 奥田良三外
 - 後九、〇〇 時事解説

平役場の賞與

けふ一齊に支給

平町役場では全吏員八十名に對し今二十二日一齊にボーナスを支給したが最高十一ナスを支給したが最高十割、最低三割、平均五割である

死せる壯丁に

徴兵検査の通知

實は粗忽親爺の大失策

死亡届を忘れて

今から二十一年前に死亡した者に徴兵適齡書が送付し所在不明で當局が血眼で行方探索してゐたといふ珍話がある——内郷村綴字沼尻居住若手縣淺岸村字大塚三九生れ似島勝治(六〇)といふ爺さんが大正三年に一子を儲け耐道と名付けたが半歳を經ずして變死したので警察署の檢視を受けたけれど死亡届を出さずそのまゝ埋葬したため戸籍面が抹消されず丁度今年徴兵適齡に達したので郷里の盛岡聯隊區で適齡書を發送したが所

- 明日の部
- 後九、三〇 時報 ニュース 氣象通報 番組豫告
 - 前九、一〇 季節料理 東京市衛生試験所
 - 前九、三〇 少年少女ラヂオ大會 愛宕兒童合唱團
 - 後〇、〇〇 滿洲より宮内府大臣 沈瑞麟
 - 後一、二〇 尺八 倉川簡山外
 - 後一、四〇 狂言末廣野村萬齋
- 大阪放送合唱團
- 後六、〇〇 子供の時間
 - 童話劇「チヨビ物語」B
 - K子供サークル
 - 後七、二五 謠曲 近藤朝房
 - 後七、四五 (一) 中節都一富
 - 後七、五五 清元 清元延壽太夫
 - 後八、四五 舞臺劇 中村吉右工門一座

職工感電重傷

電力株式會社四倉營業所職工見習瀧山繁(二七)は昨日午後五時頃大浦村仁井田地内田圃で作業中感電重傷を負ふたので直ちに同町吉田醫院に入院加療中である生命危篤

女中さん拂底時代

娘身賣防止策の徹底が原因?

猫の手も欲がる歳末の多忙さに喘いでゐる折柄平職業紹介所に申込みれた女中求人カードは十二月中だけで二十餘枚に上つてゐるが現在同所では女中は愚か婦人の求職者は殆んど皆無の状態で毎日求人側からの矢のやうな催促に係員も頭を悩ましてゐるまた片倉警城製糸からの女工採用も應募者は數へるしかなかく平地方の婦人使用者は悲鳴を揚げてゐるがこの現象は一面現在聲を大にして論せられてゐる娘身賣防止策の徹底から當地方の求職婦人が比較的的好條件で遠距離の地へ

手長小僧御用

自轉車三臺を窃取

好間村大字愛谷無職山田文雄(二七)假名は去る十六日夜平町世界館前にあつた中古自轉車一臺を乗逃げて買却費消したのに味をしめ十九日も同町一丁目伊關吳服店前にあつた同店の自轉車一臺を窃取外一件合計三臺の自轉車を働らいて平署に御用



明治太平記

(禁断断絶)
上及上流

(作) 寺島証史
(畫) 野口 運

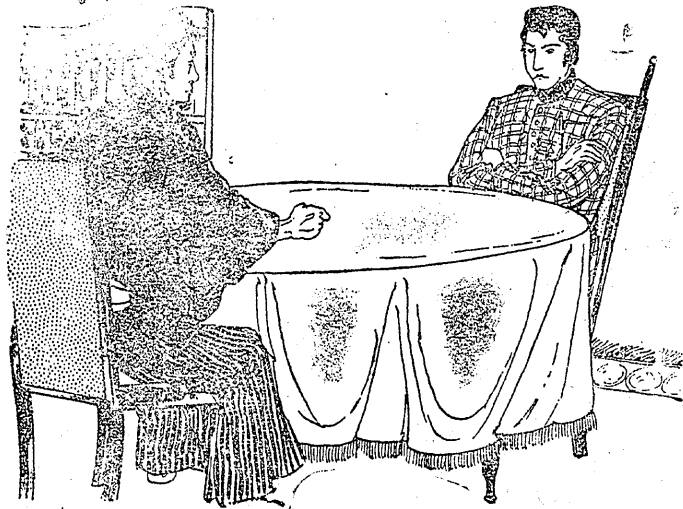
第十九回

辻 君 (十)

磯野は語をついで、
『つまりパークスの斡旋功
を奏して、みごとこのたび
の起債を解約できたそのう
へで、法度だが、仇討本懐
をその女に遂げさしたるも
のだから。井手すぐにその
女に逢つてくれ。これもま
た、國家のためだ』
『國家?... 僕には國家觀
念などない』
井手は、やつとこちら向
きになつたものゝおもはせ
ぶりに捨鉢な言葉を吐いた
『いや、私利私慾のため
もよい。ひと肌抜いて貰は
ねばならぬ』
『だが、徒らに時機を待つ
てくれるかどうかわからぬ
ぞ』
『なアに、そのときは、そ
のときのこと、立派に仇討
をさしてやらう。が出来
だけは勤めてみる。いや女
とて、やはり大和撫子の一
人、國を愛ふるわれ等の言
をむげにはしりぞけるやう
なことはあるまい、在野の
志士どころか、梁山泊の保
守派からさへ賣國奴として
付狙はれてる大隈閣下の
大事なのちを保護す』

けではなく、これは國家的
な大事件なのぢや。さア一
緒に僕と往つてくれ』
磯野は、開化男の井手の
肩をつかんで引立てた。
『まア、女のこととは、僕に
まかしてをいて貰はう。さ
ういふわけで女の恨みの一
刀を暫時控へさせることは

上の起債を解約させること
は出来るにしても、政府で
は、新にパークスの斡旋で
起債しあくまでも鐵道敷設
の意向だが、何しろ、反對
派の意見が猛烈で、とうて
いこれを鎮めることはでき
ん。それに見給へ、東京横
濱間の鐵道敷設豫定沿線に
當局が試験的に電柱を立て
ると、沿道の小地主や、車
力、無頼の徒はその文明開
化の象徴たる電柱を片つ端
から切斷なし、電柱を倒し
て始末に困るといふではな
いか、日本の文明開化の建
設事業もこれぢや、まさに
前途遠慮といふものさ、そ



『さうみるよりはほかはな
いね。なるほどネルソン・レ
』
『では鐵道敷設は、駄目か
い』
『さうみるよりはほかはな
いね。なるほどネルソン・レ
』

できるが、しかし磯野、世
の頑迷無智の徒輩の暴舉を
鎮撫することは、とうてい
出来さうもないよ』
『では鐵道敷設は、駄目か
い』
『さうみるよりはほかはな
いね。なるほどネルソン・レ
』

ンギリ頭にもなり切れず、
無頼の徒に交つてをるとき
いたが、その大志賀が策動
してをては、容易ならぬ
ことだよ、あるひは梁山泊
の保守派と相通じて新政府
顛覆の大芝居を打たうとい
ふのかもしれない』
『いや、そこで深く考へ
てみなくとも保守と急進と
の反目は益々はげしくなつ
て来たが、その反目の波に
乗じて、巧みにおまじ廻る
のが、われ、白面諸生の
役目さ、うまく大波を乗り
切ると、意外なひろひもの
があるかもしれんよ、』

防寒毛メリヤス、陳列

婦人毛皮ショール

豊富陳列

どんなお洗濯にも絶対に縮まぬ.....
.....毛シャツと毛ズボン

蟲に喰はれぬ毛メリヤス
寒さを知らぬ真綿入婦人着と都腰巻

ツルヤ

市原醫院

平町 田町
電話一四四番

シホはリスク

一本日

大衆を呼びかける
景品附大特賣



藥腸胃シホ

定價 二十錢 五十錢
壹圓 貳圓

一、本シ胃腸藥金五十錢お買上げ毎に
景品券一枚を差上げます

二、賣出期日 昭和九年十二月五日より
昭和十年一月十五日まで

三、抽籤期日 昭和十年二月十一日
本社に於て厳正に行ふ

四、抽籤券 一萬枚を以て一組とし
各組の番號は共通と致します

五、景品 壹萬枚に對し

壹等 拾圓也 (本社製品中) 五名

貳等 五圓也 (同) 一〇名

參等 貳圓也 (同) 二〇名

四等 壹圓也 (同) 五〇名

五等 五拾錢也 (同) 一〇〇名

六、景品は新製品マークロ小瓶一個宛全部呈上
ホシチエンストアにて

主催 星製藥株式会社

ホシチエンストア平支部

ホシチエンストア一 同

本品の偽物を賣る藥店があります

東京星製藥會社製と御指定を乞ふ